

# I 令和3年度鈴鹿市一般会計予算について

総額 約646億円（前年比 1億9,500万円増）

## 歳入予算

| 内訳             | 予算額    | 構成比  |
|----------------|--------|------|
| ① 市税           | 約273億円 | 約42% |
| ② 国・県支出金       | 約150億円 | 約23% |
| ③ 地方交付税等       | 約133億円 | 約21% |
| ④ 市債（借金）       | 約46億円  | 約7%  |
| ⑤ 繰入金（財政調整基金等） | 約44億円  | 約7%  |
| 合計             | 約646億円 | 100% |

## 歳出予算

| 内訳          | 予算額    | 構成比  |
|-------------|--------|------|
| ① 民生費       | 約263億円 | 約41% |
| ② 土木費       | 約67億円  | 約10% |
| ③ 総務費       | 約78億円  | 約12% |
| ④ 衛生費       | 約57億円  | 約9%  |
| ⑤ 教育費       | 約65億円  | 約10% |
| ⑥ 公債費       | 約42億円  | 約6%  |
| ⑦ 商工・農林水産業費 | 約27億円  | 約4%  |
| ⑧ 労働費       | 約1億円   | 約1%  |
| ⑨ 消防費       | 約26億円  | 約4%  |
| ⑩ その他       | 約20億円  | 約3%  |
| 合計          | 約646億円 | 100% |

## 2 令和3年度障がい福祉課関連予算について

| 令和2年度予算額 | 令和2年度決算額 | 令和3年度予算額 | 前年比（予算対比） |
|----------|----------|----------|-----------|
| 約48億3千万円 | 約53億1千万円 | 約51億1千万円 | 約2億8千万円増  |

| 主な事業費               | 令和2年度予算額<br>A | 令和2年度決算額<br>B | 令和3年度予算額<br>C | 前年比 D<br>(予算対比)<br>D=C-A |
|---------------------|---------------|---------------|---------------|--------------------------|
| 障害福祉<br>サービス等<br>事業 | 約32億7,920万円   | 約35億3,810万円   | 約33億200万円     | 約2,280万円<br>増            |
| 地域生活支援<br>事業        | 約2億1,740万円    | 約1億9,830万円    | 約2億1,180万円    | 約560万円<br>減              |
| 自立支援医療<br>(更生医療)    | 約1億5,240万円    | 約1億4,930万円    | 約1億5,060万円    | 約180万円<br>減              |
| 特別障害者<br>手当         | 約7,190万円      | 約6,640万円      | 約6,870万円      | 約320万円<br>減              |
| 補装具事業               | 4,100万円       | 約4,810万円      | 4,100万円       | 0円                       |
| 障害児通所<br>支援事業       | 約8億9,140万円    | 約10億4,400万円   | 約11億5,860万円   | 約2億6,720万円<br>増          |
| 障害児福祉<br>手当         | 約2,660万円      | 約2,650万円      | 約2,680万円      | 約20万円<br>増               |

(1) 障害福祉サービス事業（サービス事業費負担金）

令和2年度末支給決定者数 1,622人

| 令和2年度予算額    | 令和2年度決算額    | 令和3年度予算額    | 前年比（予算対比） |
|-------------|-------------|-------------|-----------|
| 約32億6,300万円 | 約35億2,100万円 | 約32億8,700万円 | 2,400万円増  |

主なサービス別利用状況（一部抜粋）

| サービス名    | 延利用者（人） | 利用額（円）        |
|----------|---------|---------------|
| 居宅介護     | 2,602   | 136,521,347   |
| 生活介護     | 6,159   | 1,305,880,520 |
| 就労移行     | 504     | 82,439,256    |
| 就労継続（A型） | 2,818   | 400,479,762   |
| 就労継続（B型） | 5,617   | 690,790,186   |

(2) 障害児通所支援事業（サービス事業費負担金）

令和2年度末支給決定者数 908人

| 令和2年度予算額   | 令和2年度決算額    | 令和3年度予算額    | 前年比（予算対比）   |
|------------|-------------|-------------|-------------|
| 約8億9,000万円 | 約10億4,100万円 | 約11億5,700万円 | 約2億6,700万円増 |

主なサービス別利用状況（一部抜粋）

| サービス名      | 延利用者（人） | 利用額（円）      |
|------------|---------|-------------|
| 児童発達支援     | 3,503   | 204,458,350 |
| 放課後等デイサービス | 8,538   | 798,568,971 |

(3) 福祉タクシー事業（平成30年度から一般財源化）

対象者 身体障害者手帳（下肢・体幹・視覚）Ⅰ・Ⅱ級  
 身体障害者手帳（内部）Ⅰ級  
 療育手帳A  
 精神障害者保健福祉手帳Ⅰ級  
 ただし、自動車税または軽自動車税の減免を受けている方は除く

交付内容 一人当たり 500円券 × 2枚 × 月数  
 （計1,000円～12,000円分）

| 令和2年度予算額    | 令和2年度決算額    | 令和3年度予算額    | 前年比（予算対比）  |
|-------------|-------------|-------------|------------|
| 5,100,000 円 | 4,178,220 円 | 4,845,000 円 | 255,000 円減 |

| 年度  | 交付人数<br>(人) | 決 算 額<br>(円) | 利 用 率 |        | 社会福祉事業振興<br>基金残高 |
|-----|-------------|--------------|-------|--------|------------------|
|     |             |              | (%)   | 前年比    |                  |
| H26 | 1,449       | 10,297,580   | 49.1  | 4.2%増  | 30,149,783       |
| H27 | 1,560       | 10,363,770   | 45.9  | 3.2%減  | 17,881,758       |
| H28 | 793         | 5,220,170    | 61.0  | 15.1%増 | 11,120,798       |
| H29 | 791         | 4,926,200    | 58.3  | 2.7%減  | 6,395,003        |
| H30 | 791         | 4,966,770    | 58.8  | 0.5%増  |                  |
| R1  | 787         | 4,793,690    | 57.9  | 0.9%減  |                  |
| R2  | 741         | 4,178,220    | 54.0  | 3.9%減  |                  |

#### (4) 障がい者の就労マルシェ

本年度は、11月11日（木）、12日（金）に、イスのサンケイホール鈴鹿で開催予定であるが、新型コロナウイルス感染症の感染状況により、内容は関係機関と協議の上決定の予定。

#### (5) 福祉ロボット推進事業

歩行訓練用装着ロボットスーツHALの訓練指導ができる人材の育成と、訓練可能な施設を増やすことで、みえライフィノベーション総合特区鈴鹿拠点に集約された医療・福祉の社会的資源の一層の活用と充実を図り、学生の定住化を図り、地域障がい者の自立、福祉の先進的取組みを引き続き支援する。

#### (6) 障がい者就労農福連携事業

令和元年度から、本市単独補助金にて支援を行っている。

農産物を生産する市内就労系福祉サービス事業所（農福連携事業所）への農業技術指導，農産物販売拠点での販売実証による農福連携事業所の工賃向上，商品のブラッシュアップ，障がい理解につなげる取組み。

さらに、ジョブトレナーの派遣を通じて一般就労を希望する障がい者を支援する。

また、中日本高速道路株式会社と、障がい者アグリ就労人材センター及び本市との協定により、鈴鹿パーキングエリアを活躍の場と位置づけ、就労支援事業所と協力しながら、障がい者支援を中心とした事業を展開し、野菜等の販売事業，フラワーオブジェの管理等，パーキングエリア内の美化，清掃活動を引き続き実施している。

### 3 新型コロナウイルス感染症対策について

#### (1) 鈴鹿まると応援券配布事業について

障がい者の方への経済的支援として、令和2年7月末時点で、鈴鹿市に住民登録のある身体障害者手帳、療育手帳及び精神障害者福祉手帳をお持ちの方に対して、1人につき10,000円(1,000円×10枚綴り)の商品券を配布した。

配布数は、93,800枚(9,380人×10枚)で、そのうち使用されたのは、87,005枚であり、使用率は約93%であった。

#### (2) 基礎疾患を有する方へのワクチン接種について(令和3年6月17日現在)

7月末頃までに、希望する65歳以上の高齢者の方へのワクチン接種が完了する見通しであることから、次の優先順位である「64歳以下の基礎疾患を有する方」に対する接種を実施。

基礎疾患を有する方の範囲の一例

- ①慢性の呼吸器の病気
- ②慢性の心臓病(高血圧を含む)
- ③慢性の腎臓病
- ④慢性の肝臓病(肝硬変等)
- ⑤免疫の機能が低下する病気(治療中の悪性腫瘍を含む)
- ⑥重い精神疾患(精神疾患の治療のため入院している、精神障害者保健福祉手帳を所持している、又は自立支援医療(精神通院医療)で「重度かつ継続」に該当する場合)や知的障害(療育手帳を所持している場合)

上記の方は、主治医に相談の上、「新型コロナウイルスワクチン接種券送付申請書」に記載してもらい、申請書を新型コロナウイルスワクチン接種推進課に提出し、郵送されてくる接種券を受け取り、予約する手順となっている。